

2016年4月30日

ゴミ最多はペットボトル 荒川河川敷

荒川河川敷

荒川河川敷でゴミ拾いに取り組んでいた江戸川区のNPO法人「荒川クリーンエイド・フォーラム」が、昨年1年間のゴミの回収状況をまとめた報告書を発行した。回収したゴミを種類別にみると、ペットボトルが7年連続で最多だった。

同法人は、様々な市民団体や企業、学校などとともに会場で活動が行われ、1万47人が参加した。

参加者の記録に基づいた集計によると、集まったゴミは、45袋入りゴミ袋で計5602袋。このうち、約4分の1の12266袋が、ペットボトルで、回収量は前年を上回った。ゴミの用途別にみると、ペットボトルや菓子などの袋、ビンや缶などの容器包装類が7割以上を占め、硬いプラスチックやガラスなどの破片も全體の2割に上った。

く、強風などで周辺のゴミ集積場から飛んできたものも多いとみられるという。捨てられたものだけではなく、強風などで周辺のゴミボトルを利用するなど、日常生活中で一人一人がゴミを減らす努力をしてほしい」と話している。



多くの人が参加した昨年のゴミ拾い活動 (荒川クリーンエイド・フォーラム提供)